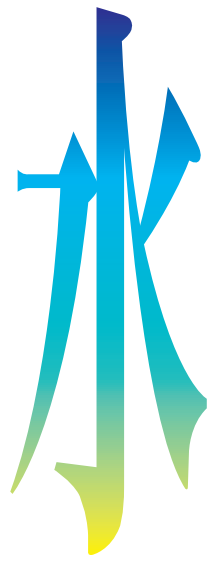


No.75

平成27年1月号

よみがえる

【KJKだより】



写真：ウグイス（栗林公園）

写真提供：安永 修氏



新年のごあいさつ

公益社団法人
香川県浄化槽協会

会長 山本 忠文

謹んで平成27年の年頭のごあいさつを申し上げます。

会員の皆様方におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

昨年中は、当協会の事業各般に亘り、会員各位並びに行政及び関係各位におかれましては、格別のご理解とご指導を賜り、厚くお礼を申し上げます。

昨年は、県・市並びに関係行政機関各位の指導の下、11条法定検査手数料の引き下げを実施し、更に11条法定検査未受検者への継続的な受検啓発に努めた結果、受検率は順調に向上してまいりました。

しかしながら、未だ浄化槽管理者の半数以上の方のご理解を得られていない状況であり、受検率の更なる向上は、喫緊の課題であります。

一方、県内の浄化槽の約6割が未だ単独処理浄化槽であり、雑排水が未処理の状況であり、一日でも早く合併処理浄化槽への転換が求められております。

ご存じのとおり、合併処理浄化槽は下水道と比べても遜色のない汚水処理能力をもっており、短期間で整備が可能、しかも安価、災害にも強く、環境にも財政にも優しく、地震にも強い生活排水処理施設であり、ますます重要な役割を果たしていかな

ければなりません。県では生活排水処理の重要な柱の一つとして、積極的に合併処理浄化槽の整備の推進にお力添えを頂き、当協会も合併処理浄化槽への転換に力を入れるとともに、合併処理浄化槽の維持管理費の公的補助の更なる拡大を要望していきます。

また、本年は協会として小中学校における環境教育にも力を入れてまいります。昨年は環境ポスターの募集ならびに環境教育を行い、未来を担う子供たちへの教育に力を注ぎ、今年も多くの子供たちに水の大切さを伝えてまいります。

当協会は、公益法人としてどのように社会に貢献していけばよいか真摯に受けとめ、「生活環境と公衆衛生の向上」「浄化槽の普及・啓発並びに維持管理の適正化」「安心・安全・快適な環境づくり」を、関係機関と連携し、使命感を持って取り組む所存でございますので、今後ともより一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、本年も会員各位、並びに関係各位の皆様のみましますのご発展とご活躍をご祈念申し上げますとともに、当協会への倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、新年のごあいさつといたします。



新年のごあいさつ

香川県環境森林部
部長 川田 浩司

新年を迎え、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

皆様方には、本県の環境行政の推進について、平素から格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、香川県は、美しい瀬戸内海の島々や、讃岐山脈から流れる中小の河川やため池など、身近に親しめる水環境に恵まれております。しかし一方では、温暖少雨の気候に加え、狭い土地を高度に利用しているため、河川などの公共用水域が水質汚濁の影響を受けやすい状況にあります。

そこで県では、平成25年度から、水産資源、景観、憩いの場など多くの恵みを楽しむことができる「豊かな海」を目指して、人の手を適度に加えて海域・陸域を一体的に管理する「里海づくり」の手法を取り入れ、山・川・里（まち）・海をつなげる取組みを総合的に進めております。

合併処理浄化槽につきましては、里（まち）における生活排水処理対策の重要な柱の一つとして積極的に整備を進めており、平成25年度末の合併処理浄化槽の普及率は26.7%と、全国平均8.9%を大幅に上回っています。

また、浄化槽がその機能を正しく発揮するためには、適正な維持管理を行う必要があります。浄化槽管理者には、保守点検や清掃の実施とともに、法定検査の受検が義務付けられています。

平成25年度の11条法定検査の受検率は38.6%になる見込みであり、指定検査機関である貴協会のご努力により年々向上していますが、依然として低い状況にあります。そのため県では、合併処理浄化槽への転換や法定検査受検率の向上に重点的に取り組んでおり、引き続き市町や貴協会と連携し、転換基数の増加と受検率の向上を図りたいと考えております。

貴協会及び会員の皆様方におかれましては、浄化槽の適正な設置や維持管理の促進を通じて、県民の安心で快適な生活環境の確保に、なお一層のお力添えをいただきますようお願いいたします。



新年のごあいさつ

高松市上下水道事業管理者
石垣 佳邦

平成27年の新春を迎え、謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

皆様方には、平素より本市の行政、とりわけ生活環境の改善と公共用水域の水質保全に格別の御尽力と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

貴協会は、浄化槽法に規定されております法定検査を実施する県内唯一の検査機関として、日頃より合併処理浄化槽の普及促進と維持管理、また法定検査の推進に関する各種啓発活動に積極的に取り組まれ、公衆衛生の向上に多大な御貢献をされていること、深く感謝いたしております。

さて、本市の平成25年度末の汚水処理人口普及率は、前年度から1.0%増の84.4%となりましたが、全国平均の88.9%に比べますと依然として低い水準にあります。

また、浄化槽の維持管理につきましても、貴協会の御努力により、11条法定検査の受検率が25年度末で、前年度から3.8%増の33.5%と初めて30%を超えたものの、依然として低い水準にあり、浄化槽の適正な管理を促す上で、受検率等の更なる向上が重要な課題であると認識しております。

このようなことから、本市では、「高松市上下水道事業基本計画」の基本方針の一つに掲げる「快適で安心な生活環境の提供」の実現のため、公共下水道を計画的に整備するとともに、25年度に設けました単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換に対しての上乗せ補助制度の活用を推進しており、転換基数も増加しているところでございます。

本年も引き続き、合併処理浄化槽への転換促進に積極的に取り組むとともに、浄化槽の法定検査を始め、適正な維持管理に向けた啓発指導についても、より一層推進してまいりたいと考えております。

そのためには、貴協会を始め、関係業界の皆様方の更なる御理解と御協力、連携強化が不可欠であると存じておりますので、本年も何卒よろしくようお願い申し上げます。

結びに、貴協会のみならずの御発展と会員皆様の御健勝、御活躍を心から祈念申しあげ、新年の御挨拶といたします。

平成26年度浄化槽管理士研修会開催される



平成26年10月22日(水)、高松テルサにて、香川県及び高松市共催の浄化槽管理士研修会が開催されました。

講師に、公益財団法人日本環境整備教育センター調査・研究グループ調査役の久川和彦氏を迎え、「最近の性能評価型浄化槽の動向と維持管理の課題」と題して講演が行われました。性能評価型浄化槽の種類や普及状況、保守点検時や清掃時の留意点などについて説明

がありました。参加者274名は、最近の性能評価型浄化槽の保守点検及び清掃に関する説明内容に熱心に聴き入っていました。

平成26年度浄化槽保守点検業者技術向上現場研修会を開催

協会は、平成26年11月17日(月)、香川県委託事業の浄化槽維持管理強化指導業務の一環として、浄化槽保守点検業者の保守点検技術向上現場研修会を、高松市内にて開催しました。

講師に、公益財団法人日本環境整備教育センター調査・研究グループグループリーダーの仁木圭三氏を迎え、午前中は協会二階大会議室にて「浄化槽の水質測定結果の活用について」講習を行いました。

また、午後からは、高松市仏生山公園に場所を移し、公園内公衆トイレの浄化槽を用いて、各单位装置の作動状況の確認、保守点検を行う上での注意点の説明、またパックテストを用いたアンモニウムイオン・硝酸イオンの水質測定実習を行いました。参加者からは大変勉強になったとの声を頂きました。



産業医による研修を実施

平成26年11月19日（水）午後4時から、当協会二階大会議室において、「産業医によるメンタルヘルス・生活習慣病についての研修」を職員の健康の保持増進を図るため実施し、職員49名が参加しました。



この研修は、講師として、独立行政法人地域医療機能推進機構

りつりん病院 内科山ノ井康弘氏を招き、「メンタルヘルスについて」と「生活習慣の改善」の2つのテーマについてパワーポイントで研修を受けました。

「メンタルヘルスについて」では、ストレスの原因やこころの病の説明、およびそれらの予防方法や改善方法等について説明をしていただきました。

こころの病とは、誰もがかかってしまう可能性があること、かからないためにはセルフケアが大切であること、かかってしまっても回復しうる病気であること、本人自身だけではなく、組織全体でもメンタルヘルスについて予防していく必要性があることを学びました。

また「生活習慣の改善」というテーマでは、生活習慣病やメタボリックシンドロームにつ



いての説明およびそれらの予防方法や改善方法等について説明をしていただきました。生活習慣病は、毎日の好ましくない生活習慣の積み重ねによって引き起こされ、その多くは自覚症状が無く相当年数を得て病状が現れるため、常日頃の食生活に注意し、また運動を行う等の予防が大切ということを知りました。

大変有意義な研修となりました。

協会検査員との意見交換会

協会は、平成26年11月12日（水）午後4時から協会二階大会議室において、「協会検査員と工事部会・保守点検部会の部会長及び副部会長の意見交換会」を開催し、10名が参加しました。

協会検査員から、法定検査業務の内容、法定検査結果の内訳及び不適正浄化槽指摘事項項目の詳細についての説明がなされた後、参加者の間で意見交換が行われました。

今後の検査業務の改善等に役立つ有意義な会となりました。

平成 26 年度
「河川や海をよごさないようにしよう」
環境ポスター入賞者

最優秀賞



最優秀賞
三豊市立勝間小学校 4年 久保美菜子

優秀賞



優秀賞
三豊市立下高瀬小学校 6年 岩田 芽衣



優秀賞 三豊市立財田上小学校 6年 横山 玲央



優秀賞 三豊市立比地小学校 5年 宮本 理子

特別賞



特別賞
三豊市立麻小学校 4年 遠山萌彩夏

佳作



佳作 三豊市立麻小学校 4年 樋口 芹菜



佳作 三豊市立上高瀬小学校 4年 政本 和音



佳作 三豊市立大浜小学校 5年 菅 隆臣



佳作 三豊市立桑山小学校 5年 國本慶一郎



佳作
三豊市立桑山小学校 6年 山本 翔太

浄化槽コーナーを設けPR

みとよ健康・福祉まつり

協会は、平成26年10月18日(土)、「みとよ健康・福祉まつり'14」に参加し、環境ポスター入賞者の表彰式、浄化槽相談、着ぐるみによるPR、アンケート調査、水槽展示、浄化槽カットモデル及びミニモデルの展示を行い、浄化槽の普及啓発活動を行いました。

環境ポスター入賞者の表彰式はオープニング後に執り行われ、山条会長より入賞者へ賞状と副賞が授与されました。浄化槽相談では、「清掃後の水張り」「敷地内での浄化槽の設置場所」等の質問があり、担当者が懇切丁寧に対応しました。アンケート調査の回答者にはエコバッグを、子供たちには協会ロゴの入った風船を配布し、浄化槽の普及啓発に努めました。着ぐるみ「じょうかそう君」は、子供たちに大人気でした。水槽には、ドジョウやタナゴなどが泳ぎ、子供たちが興味深く覗き込んでいました。浄化槽カットモデルは、アムズ株式会社のご協力を頂き展示を行いました。



山条会長と環境ポスター入賞者の皆さん



浄化槽相談コーナー



浄化槽カットモデル



じょうかそう君

善通寺農商工夢フェスタ2014

平成26年10月25日(土)、26日(日)、善通寺農商工夢フェスタ2014に参加し、浄化槽ミニ講座による浄化槽の普及啓発活動を行いました。2日間で述べ300の方がミニ講座を受講しました。



浄化槽ミニ講座

琴南地区文化祭

平成26年11月2日(日)、「平成26年度琴南地区文化祭」に参加し、パネル展示による浄化槽の普及啓発活動を行いました。



パネル展示

水環境を守ろう

高松市で環境教室を開催



フジクリーン工業(株)と協会は協力し、平成26年10月14日(火)、高松市立下笠居小学校(町川^{まちかわ} 哲^{さとし}校長)で4年生52名を対象に、総合学習の一環として環境教育を行いました。

同小学校の4年生は、地元を流れる住吉川をきれいにすることを目標としており、どうしたら住吉川がきれいになるのか?その方法がよく分からないとのこと。

そこで「水の専門家」に力を貸してもらうため、手紙を書こう!ということになり、生徒達からの手紙を受け取ったフジクリーン工業(株)と協会の「水の専門家」が、生徒たちの疑問に答えるために同小学校を訪れる形での教室開催となりました。

生徒達は、「川の水をきれいにするにはどうしたらいいか?川のよごれはどうやって調べるのか?」水の大切さや水環境について、スライドを視聴した後、CODパケットテストによる水質測定実習を行いました。

水質測定実習では、住吉川の水や洗剤・ジュース・牛乳・ケチャップ等を薄めたサンプルを使い、よごれの度合いを真剣に測定しました。

さらに、浄化槽ミニモデルを用い、汚れた水をきれいにする装置(浄化槽)のしくみを学びました。

生徒たちは、「身近な飲み物や食べ物をそのまま流すと川や海がよごれる原因になること」「川をきれいにするには、使った水は浄化してから流すことが必要であること」「川のよごれを調べる方法としてCODパケットテストという方法があること」「汚れた水をきれいにする装置があること」を学びました。

協会では、次世代を担う子供たちに水の大切さを知ってもらい、限りある水を守るためには何が必要かを学んでもらう趣旨で、平成20年度より環境教室を開催しています。

小・中学校、PTA、自治会などの団体で、開催のご希望があれば、当協会までお気軽にお問い合わせください。



第28回全国浄化槽大会

「浄化槽の日」実行委員会は、平成26年10月1日(水)、東京都千代田区の東京會館で第28回全国浄化槽大会を開催しました。本県からは山条会長と香川事務局長が出席しました。

大会には全国から約800名の関係者が出席しました。式典では浄化槽適正整備推進決議の採択、浄化槽功労者の表彰、記念講演が行われました。

「浄化槽の日」標語は、最優秀賞に岩田覚氏(長崎県)の「浄化槽で生まれ変わる水 生まれ変わる町」が選ばれました。

式典後の記念講演では、宮城大学の岩堀恵祐氏が「古今東西糞尿譚～今後の浄化槽に期待する～」をテーマに、古代のトイレ事情・下水道と公衆衛生の関係・単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への早急な転換・法定検査受検率向上の必要性について講演を行いました。

おめでとうございます



長尾環境設備 株式会社
代表取締役 **長尾 克己** 氏

環境大臣表彰

平成26年10月1日



株式会社 サノキ
代表取締役 **山下 裕** 氏

環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部長表彰

平成26年10月1日

新入会員のお知らせ

| 会社名 | 業種 | 所在地 | TEL・FAX |
|------------|----|----------------------|--------------------------------------|
| 積和建設四国株式会社 | 工事 | 香川県綾歌郡 綾川町滝宮214-1 | TEL 087-870-8221 FAX 087-876-6216 |

九州地区浄化槽検査員研修会に参加

平成26年11月21日(金)、福岡市内の八仙閣にて平成26年度九州地区浄化槽検査員研修会が開催されました。九州地区から108名が会場に集まりました。四国地区からは、情報交換の為10名が参加しました。

主催者である九州地区指定検査機関協議会の原会長の挨拶の後、各検査機関が研究発表を行いました。また、(公財)大分県環境管理協会より「普及啓発事業について」、(一財)福岡県浄化槽協会より「11条検査受検勧奨事業について」の特別発表がありました。交流会では情報交換を行いました。今後の検査業務に役立つ研修会となりました。



協会のうごき

10月～12月

- | | |
|---|----------------------------------|
| 10月7日 不適正浄化槽立入指導 (香川県西讃保健福祉事務所) | 11月2日 琴南地区文化祭 |
| 10月7日 KJK会ゴルフコンペ (鮎滝CC) | 11月5日 香川県シェイクアウト (地震防災行動訓練) |
| 10月10日 浄化槽行政職員研修会 (香川県庁) | 11月6日 不適正浄化槽立入指導 (香川県西讃保健福祉事務所) |
| 10月14日 環境教室 (下笠居小学校) | 11月11日 不適正浄化槽立入指導 (香川県東讃保健福祉事務所) |
| 10月14日 不適正浄化槽立入指導 (高松市上下水道局) | 11月12日 不適正浄化槽立入指導 (香川県西讃保健福祉事務所) |
| 10月17日 不適正浄化槽立入指導 (高松市上下水道局) | 11月12日 協会検査員との意見交換会 |
| 10月18日 みとよ健康・福祉まつり '14 | 11月14日 環境測定分析精度管理結果検討会 |
| 10月20日 不適正浄化槽立入指導 (香川県東讃保健福祉事務所) | 11月17日 不適正浄化槽立入指導 (高松市上下水道局) |
| 10月21日 不適正浄化槽立入指導 (香川県東讃保健福祉事務所) | 建産連理事会 |
| 10月22日 不適正浄化槽立入指導 (香川県西讃保健福祉事務所) | 浄化槽保守点検業者技術向上現場研修会 (高松市) |
| 10月22日 平成26年度管理士研修会 (高松テルサ) | 11月20日 不適正浄化槽立入指導 (香川県東讃保健福祉事務所) |
| 10月25日 第8回四国4県親睦ソフトボール大会 (徳島県) | 11月21日 不適正浄化槽立入指導 (香川県東讃保健福祉事務所) |
| 10月25日 善通寺農商工夢フェスタ2014 | 11月21日 九州地区浄化槽検査員研修会 (福岡県) |
| ～10月26日 | 12月2日 高松市上下水道事業経営懇談会 |
| 10月27日 浄化槽教室 (三豊市) | 12月3日 浄化槽教室 (坂出市) |
| 10月28日 不適正浄化槽立入指導 (香川県西讃保健福祉事務所) | 12月12日 不適正浄化槽立入指導 (香川県西讃保健福祉事務所) |
| 10月31日 平成26年度第3回会長・副会長 平成26年度第4回理事会 平成26年度第1回法定検査結果検討委員会及び 県・高松市・善通寺市・協会業務推進会議 | 12月15日 不適正浄化槽立入指導 (高松市上下水道局) |
| | 12月17日 不適正浄化槽立入指導 (高松市上下水道局) |
| | 12月19日 不適正浄化槽立入指導 (香川県小豆総合事務所) |

Golf Competition

第8回KJK会 ゴルフコンペ結果報告 平成26年10月7日(火)

ゴルフと私 シコク環境ビジネス(株) 山崎 健一

紅葉の頃、多くの会員の方々にご参加頂き、第8回KJK会ゴルフコンペを開催できましたことお礼申し上げます。

今大会も台風の影響で、第8回KJK会の開催が心配されていましたが、当日は、絶好のゴルフ日和となりました。

同伴者は、木下さん、井上さん、青田さんで、メンバーにも恵まれ楽しくプレーすることができました。

また、OB・イージーミスもあったのですが、ハンディキャップやキャディさんのアドバイスのおかげもあり、なんとか初優勝することができました。KJK会では、ダブルペリア方式のハンディキャップで行っています。誰にでも優勝する可能性がありますので、表彰式での結果発表も楽しいイベントのひとつかと思えます。まだ、参加されたことのない方も含め、多くの会員の方々にご参加いただき、KJK会を通して、協会会員の親睦を深めていけたらと思います。

最後になりましたが、浄化槽協会会員の皆様方のご活躍をお祈りし、私の優勝の挨拶とさせていただきます。



於：鮎滝カントリークラブ

《第8回KJK会ゴルフコンペ結果》

| 順位 | 参加者名 | OUT | IN | GROSS | HDCP | NET | ベスグロ |
|----|-------|-----|----|-------|------|------|------|
| 1 | 山崎 健一 | 49 | 50 | 99 | 31.2 | 67.8 | |
| 2 | 前田 忠信 | 43 | 49 | 92 | 19.2 | 72.8 | |
| 3 | 大野 敏 | 49 | 44 | 93 | 19.2 | 73.8 | |
| 4 | 大西 徹弥 | 46 | 41 | 87 | 13.2 | 73.8 | ★ |
| 5 | 松尾 英樹 | 48 | 49 | 97 | 22.8 | 74.2 | |
| 6 | 香西 岩男 | 45 | 45 | 90 | 15.6 | 74.4 | |
| 7 | 宮武 幸雄 | 45 | 42 | 87 | 12.0 | 75.0 | ★ |
| 8 | 雉鳥 進 | 49 | 53 | 102 | 26.4 | 75.6 | |
| 9 | 青田 健二 | 45 | 44 | 89 | 13.2 | 75.8 | |
| 10 | 塩田 定一 | 45 | 49 | 94 | 18.0 | 76.0 | |
| 11 | 原 透 | 46 | 46 | 92 | 15.6 | 76.4 | |
| 12 | 山野 元春 | 47 | 50 | 97 | 20.4 | 76.6 | |
| 13 | 矢木 祐一 | 47 | 50 | 97 | 20.4 | 76.6 | |
| 14 | 眞鍋 弘之 | 56 | 43 | 99 | 21.6 | 77.4 | |
| 15 | 山下 裕 | 45 | 42 | 87 | 9.6 | 77.4 | ★ |
| 16 | 岡本 吉幸 | 47 | 47 | 94 | 15.6 | 78.4 | |
| 17 | 木下 敏博 | 56 | 44 | 100 | 21.6 | 78.4 | |
| 18 | 遠藤 孝司 | 53 | 53 | 106 | 24.0 | 82.0 | |
| 19 | 井上 政則 | 62 | 58 | 120 | 33.6 | 86.4 | |

第8回親睦ソフトボール大会 プレイボール



平成26年10月25日（土）、浄化槽法指定検査機関四国地区協議会の第8回親睦ソフトボール大会が、徳島県の上板町ファミリースポーツ公園で開催されました。

四国四県から総勢136名が集結、当協会からは、山条会長をはじめ33名が参加しました。

開会式では、開催県を代表して公益社団法人徳島県環境技術センターの大坂会長の開会挨拶後、試合開始となりました。

試合はリーグ戦で行われました。今大会も優勝を狙う香川県は、日頃の練習の成果が実ったのか、3戦全勝で3連覇達成となりました。なお、二位は高知県環境検査センター、続いて徳島県環境技術センター、愛媛県浄化槽協会の順位でした。来年度は、香川県で開催の予定です。



事務局だより

表紙写真募集

表紙写真を次の要領で募集いたします。

- ・季節感のあるもの
- ・水に関係のあるもの
- ・香川県内の風景写真

※発行月は、一、四、七、十月です
採用分には粗品を用意しております。
（詳細は協会事務局まで）

新入社員

- 平成26年10月1日付
・平石 忠士
業務部検査課検査第三係
- 平成26年11月1日付
・堀 徹視
業務部検査課検査第二係

退職者

- 平成26年12月4日付
・竹森 鈴子
業務部水質試験室G L

訃報

（有限会社 小豆島清掃社 代表取締役）

河田 憲彦 氏

平成26年10月31日

（逝去）

編集後記

新年あけましておめでとうございます。本年も協会員の皆様にとつて素晴らしい年であります様、心よりお祈り申し上げます。

さて、先日、友人の結婚式で、年配の方がスピーチでこのようなことを言っておりました。「新郎は二人、新婦は三人子供が欲しいと聞きましたが、少子化ですので合わせて五人産んでいただきたい。」と思わず笑ってしまいました。自分も結婚当初は、子供が四人欲しいと言っていたことを思い出しました。現実には二人で手一杯ですが、夫婦の理想の子供数に比べて、実際の子供数は少ないという統計が出ています。これは、経済的な要因のほか、育児と就業の両立や夫の育児の不参加など、子育て支援や働き方の問題があるそうです。

昨年、「地方消滅」という言葉が少し話題となりました。日本では、少子高齢化が深刻ですが、地方においては、高齢者すら減りはじめ、人口減少という問題に直面しています。これから本格的に人口減少社会に突入すると言われており、二〇一〇年に一億二八〇六万人であった日本の総人口は、二〇一〇年には四五九万人と、わずかに一〇〇年足らずで、現在の約四〇%、明治時代の水準まで減少すると言われております。もちろん、香川県においても、人口減少は確実で、インフラにも大きく影響してきます。人口減少により、水需要も減っていき、我々の業務にも大きく影響してきます。人口減少について、我々も真剣に考えていかなければならないのかもしれない。

株式会社フソウ

小島 真治

「よみがえる水」No.75

- 発行年月 平成27年1月
- 発行所 公益社団法人 香川県浄化槽協会
〒761-8012 高松市香西本町1番地106
TEL(087)881-6600 FAX(087)881-6670
- 発行責任者 会長 山条 忠文
- ホームページ <http://www.kagawajk.jp>
Eメール kjc@shirt.ocn.ne.jp

●機関紙編集委員●

- 三好光信 (株)ハウステック高松営業所
- 小島真治 (株)フソウ
- 望月 渉 (株)環境プラン
- 堀家真大 (有)森清掃社

○印は、委員長です
(扶桑建設工業㈱から㈱フソウに社名変更)